

人権擁護委員に渡辺悟さん委嘱

渡辺悟さんが法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。渡辺さんは2期目となります。

人権擁護委員は、地域の皆さんが人権に関心を持つよう、人権啓発活動や特設人権相談所での相談に応じています。家庭、近隣、学校、職場などの悩みがある人は相談ください。相談無料で、秘密は守られます。

■人権擁護委員

及川喜美子さん（上平沢）
及川憲史さん（横道下）
松本ヤエ子さん（下永沢第二）
菅原マリ子さん（諏訪小路）
渡辺悟さん（長志田）
田口久美子さん（瘤木）



渡辺 悟さん

◎特設人権相談開催（予約不要）

■開催日 毎月第2火曜日（8月のみ第3火曜日）

■時間 午後1時～4時 ■場所 町福祉センター

☎ 住民課（内線 2127）

町消防団協力事業所を募集

町は、消防団と事業所の連携・協力体制を図り、地域の消防防災力の充実強化等を目的として、金ヶ崎町消防団に協力していただける新規登録事業所を募集しています。



■認定基準 下記のいずれかに該当している事業所等

- ①従業員が消防団員として入団していて、5年以上雇用している事業所等
- ②従業員の消防活動について積極的に配慮している事業所等
- ③災害時等に事業所等の資機材等を消防団に提供するなど協力している事業所等
- ④従業員による機能別消防分団を設置している事業所等

☎ 生活環境課（内線 2134）

金ヶ崎町福祉灯油購入費等給付金を支給します

☎・申請先 保健福祉センター 福祉係（☎ 44-4560）

町は、今般の原油価格および物価高騰による生活困窮者の経済的負担の軽減を図るため、冬の生活を支える灯油、電気、ガス等のほか、防寒用具や雑貨類等の購入費の一部を支給します。

対象と思われる世帯に案内通知を発送しています。同封の申請書に必要事項を記入し、期限までに申請してください。対象世帯に該当すると思われる人で案内通知が届いていない場合は、問い合わせください。

■対象世帯 令和4年12月1日時点で、金ヶ崎町に住民登録がある令和4年度町民税非課税の世帯であって、以下のいずれかに該当する世帯

- ①満65歳以上のみで構成される世帯または満65歳以上の者および児童（18歳まで）のみの世帯
- ②身体障害者手帳の障害等級が1級または2級である者が含まれる世帯
- ③療育手帳の交付区分がAである者が含まれる世帯
- ④精神障害者保健福祉手帳の障害等級が1級である者が含まれる世帯
- ⑤障害基礎年金の障害等級が1級である者が含まれる世帯
- ⑥ひとり親または父母に代わる養育者と満18歳未満の児童が含まれる世帯
- ⑦生活保護法により保護を受けている世帯
- ⑧準要保護者の認定を受けている世帯

■給付額 一世帯あたり6,000円

■申請方法 郵便申請（同封の返信用封筒にて申請してください）

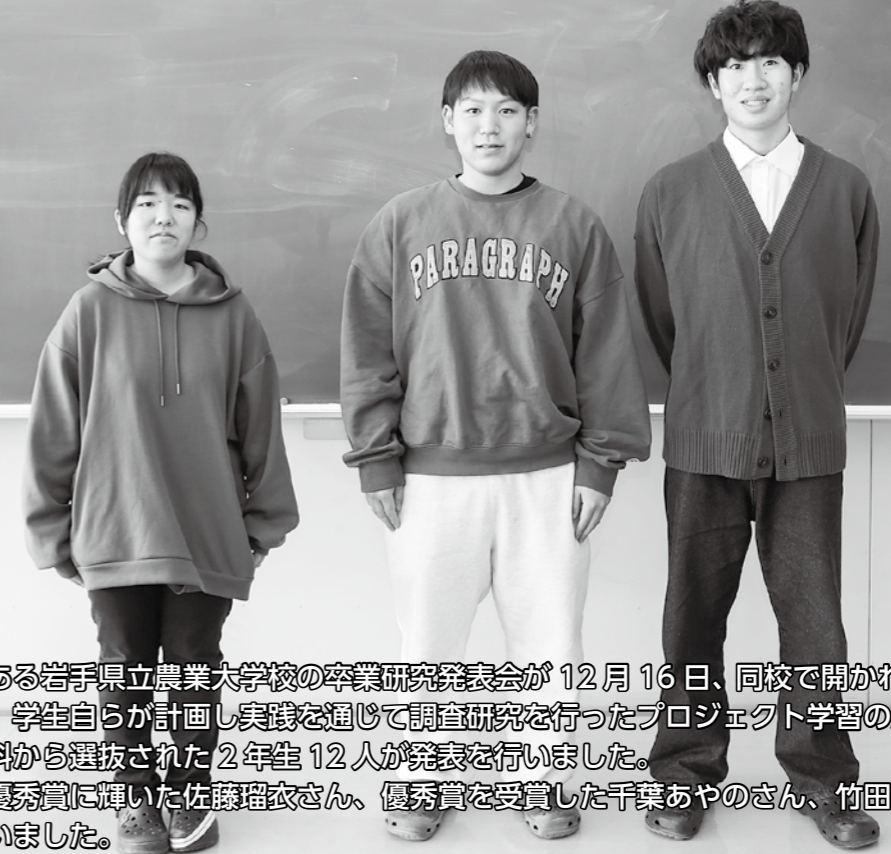
■提出期限 2月22日必着

■提出書類 ▶金ヶ崎町福祉灯油購入費等給付申請書 ▶通帳の写し ▶申請者の身分証明書の写し

※その他、該当者のみ必要な書類があります。詳細は案内通知をご確認ください。

特集 岩手県立農業大学校 学生インタビュー

本町六原にある岩手県立農業大学校の卒業研究発表会が12月16日、同校で開催されました。発表会では、学生自らが計画し実践を通じて調査研究を行ったプロジェクト学習の成果について、各経営科から選抜された2年生12人が発表を行いました。今回は、最優秀賞に輝いた佐藤瑠衣さん、優秀賞を受賞した千葉あやのさん、竹田晴信さんに話を伺いました。



Profile

佐藤 瑠衣さん
（肉畜経営科2年）

岩手町出身。実家は繁殖農家を営む。高校生の時に家業を継ぐことを決意する。卒業後は家畜人工授精師として地元のJAに就職予定。卒業研究は「発酵飼料給与による黒毛和種子牛の発育向上」



佐藤 農家派遣実習の経験から、和牛繁殖経営での発酵飼料の給与について研究しました。発酵飼料は普通比べて水分量が多いため腐りやすく、飼料の保存・保管に苦労しましたが、研究で発酵飼料を給与する効果を導くことができました。農大は、毎日牛と触れ合うことができ、同じ志を持った仲間との寮生活は良い刺激を受け、とても勉強になった学生生活でした。

卒業研究の選定理由や研究で苦労したことなどについて教えてください。

Profile

千葉 あやのさん
（果樹経営科2年）

一関市出身。祖母の影響で小学生の時から農業に興味を持つ。卒業後は地元のJAに就職予定。将来は就農も考える。卒業研究は「ラ・フランス」の大玉化の検討と西洋なしの乾燥果実の開発」



千葉 農大のオーブンキャンパスで、広い農場でたくさん果実を育てているのを見て、私もここで育てたいと思いました。日本なしに関する研究が多く、西洋なしで何かできないかと考えたのが研究のきっかけでした。なしの花が咲く時期は短いため調査には苦労しましたが、冬期間も収入が得られる乾燥果実を開発できました。実家は非農家ですが、農大で専門的な技術を学ぶことができるので、将来就農を目指す人にとって良い環境です。

Profile

竹田 晴信さん
（肉畜経営科2年）

八幡平市出身。実家は肥育農家を営む。卒業後は黒毛和牛の肥育や繁殖を行う奥州市の会社に就職予定。卒業研究は「エイジングシート活用による和牛肉の食味向上」



竹田 実家が肥育農家なので、小さい頃から牛肉を食べる機会が多かったのですが、脂などで胸やけすることもあり、熟成肉によって味を改善できないかと考えたのが研究のきっかけでした。研究では、流通基準をクリアする細菌数に調整することに苦労しましたが、12日間保存可能な美味しい熟成肉を作ることができました。農大では、農業に役立つ資格を取得できる環境があり、仲間と共に大型特殊免許など多くの資格も取得できました。